

学園聖句：「光の子らしく歩きなさい」 (エペソ人への手紙5章8節)

建学の精神 EST. 1935 (昭和10年) 創立81年

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科

- 特進コース
- 普通コース
- 健康福祉コース
- 保育コース
- インターコース
- 一貫コース

看護科

- 看護科
- 看護専攻科

商業科

- 商業コース
- 美容専攻コース
- 製菓衛生師コース

創立記念礼拝

記念講演会

平成28年度同窓会

11月18日(金)、中学、高等学校、専攻科生1350名がパターソンホールに集い、17回目となる創立者召天記念礼拝がありました。引き続き記念講演会では、有限会社クロフネカンパニー代表の中村文昭先生をお迎えし、「一つの出会いが人生を変える」と題して講演がありました。その中で先生は「頼まれごととは試されごと」と思って進んで人を喜ばせることをしなさい。と強調されていました。

11月23日(水)、隔年ごとに行われている同窓会がリーガロイヤルホテル小倉でありました。今年度は卒業生で阪神タイガースにドラフト2位で指名された小野泰己さんも駆けつけ近況報告がなされました。



講演会后、2人の生徒が先生を訪ねてきました。



遠くは東京や関西からの参加もあり懐かしい一日となりました。

特別授業 (読み聞かせ)

保育コース

あかちゃんふれあい授業

11月19日(土)、読み聞かせボランティア「おはなしひよこ」の濱田由美子先生をはじめ永大丸小学校の保護者やこみね児童館などで活動されている先生方による特別授業がありました。大きな絵本や思考想像する力をつける絵本などこれからの幼稚園教育に必要なことを学びました。

11月16日(水)、3年生対象に「赤ちゃん先生」によるエンパシーについて学びました。エンパシーとは、「感情移入・人の気持ちを思いやること」の意味で赤ちゃんの力で癒し・情緒安定効果や共認回路の活性化が期待され、全4回のプログラム構成で今回が2回目となります。言葉の使えない赤ちゃんとのコミュニケーションの取り方や言葉によるコミュニケーションの不確実さも体験しました。



製菓衛生師コース

和菓子実習

11月7日(月)～9日(水)までの3日間2年生19名が和菓子の実習を行いました。講師に門司の「なごし」の店主名越一幸先生による特別指導を受け、栗を使った12種類の和菓子を作り上げました。

辻調理専門学校特別授業

11月15日(火)、大阪の辻調理専門学校より洋菓子教授の上西弘泰先生をお呼びしチョコレートのコーティング技術について学びました。



募集定員(推薦・一般) 340名【普通科 150名/看護科・看護専攻科<五年一貫> 70名/商業科 120名】

推薦入試要項

学科	コース	出願期間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成29年 1月10日(火)～ 1月18日(水) 受付 午前9時～午後5時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後2時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

一般入試要項

学科	コース	出願期間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成29年 1月10日(火)～ 1月27日(金) 受付 午前9時～午後5時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後2時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

試験日	試験科目(基礎学力)	合格発表
平成29年 1月24日(火)	国語・数学・面接 特進・看護のみ 国語・数学・英語・面接	平成29年 1月26日(木)

試験日	試験科目	合格発表
平成29年 1月31日(火)	国語・数学・社会・理科・英語	平成29年 2月6日(月)

クリスマスライト点灯式

12月2日(金)、イエス・キリストの降誕を待ち望む期間、アドベント(待降節)を迎え恒例のクリスマスライト点灯式がありました。地域の風物詩として、すっかり定着した点灯式には短大・高校・中学の生徒代表が参加し行われました。



吉田茉莉子専攻科さん
による聖書朗読

「大膳堀川開削工事に着工 ②」

主祭神は大己貴大神(おおなむちのおおかみ)で、そのほか、稲田姫命・素盞鳴命、天照大神の三神を祭っています。由緒によりますと、神武天皇が岡水門に行幸の折、祀ったと云われ、神護景雲年間(767～769)、一国三惣社を定められた時、当社もそれに列し、郡内七旧社の一つであるとあります。神護景雲三年(769)は和氣清麻呂が道鏡の怒りをかけて大隈国に流された年でもありました。主祭神の別名は大国主命で、因幡の白兔の神話に見られるように心温かいお方であり、又、一方で医療の神として、昔から氏子から崇敬されていると云います。関係者一同に列して惣社宮の神前で祈願文を奏上して無事に起工式と成功祈願を終了した大善は、心引き締まる思いで、工事の先行きに思いを馳せたに違いありません。工事に入った元和七年(1621)正月十四日は旧暦ですので、新暦に直しますと、旧暦は新暦に凡そ一ヶ月遅れとなっていますので、二月の半ば近い頃になります。平成二十一年の暦で、新旧暦を対比しますと、新暦一月一日～一月三十一日 = 旧暦十二月六日～一月六日 となっています。旧暦では元日は一月の二十六日になっており、約一ヶ月遅れになっています。今年的一年中で最も寒い「大寒」は旧暦で十二月二十五日、新暦で一月二十日に当たっています。明治六年以前は旧暦で示されていますので、旧暦は新暦に凡そ一ヶ月近くの遅れになっている点を考慮する必要があります。

小田弘之著書「草創期の黒田藩と栗山大膳」より